

「ヘモグロビン A1c(HbA1c)」 国際標準表記への移行のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、日本糖尿病学会の「日常臨床及び特定健診・保健指導における HbA1c 国際標準化の基本方針及び HbA1c 表記の運用指針」に基づき、検査内容を下記のとおりに変更させていただきますのでご案内申し上げます。何卒宜しくご了承の程、お願い申し上げます。

謹白



検査内容の変更

変更のポイント：

2012 年度より日常臨床では「NGSP 値」を使用することになるため、新たに HbA1c(NGSP) の依頼コード(3317、3314)を新設します。

特定健診・保健指導では 2013 年 3 月 31 日まで、受診者への結果通知及び保険者への結果報告のいずれも従来通り「JDS 値」のみを用います。

現在の依頼コード(2690)は、基本的に「JDS 値」の内容でそのまま継続運用します。

NGSP(National Glycohemoglobin Standardization Program) , JDS(Japan Diabetes Society)

新規受託項目

国際標準値 (NGSP) の単独表記項目、または NGSP 値・JDS 値併記項目の 2 種類より選択してご利用いただけます。

形態(裏面参照)	検査項目名称	依頼コード No.
	HbA1c (NGSP)	3317
	HbA1c 併記 HbA1c (NGSP) HbA1c (JDS)	3314

現行受託項目の内容変更

国際標準値 (NGSP) と区別するため、従来の検査項目名称を変更させていただきます。

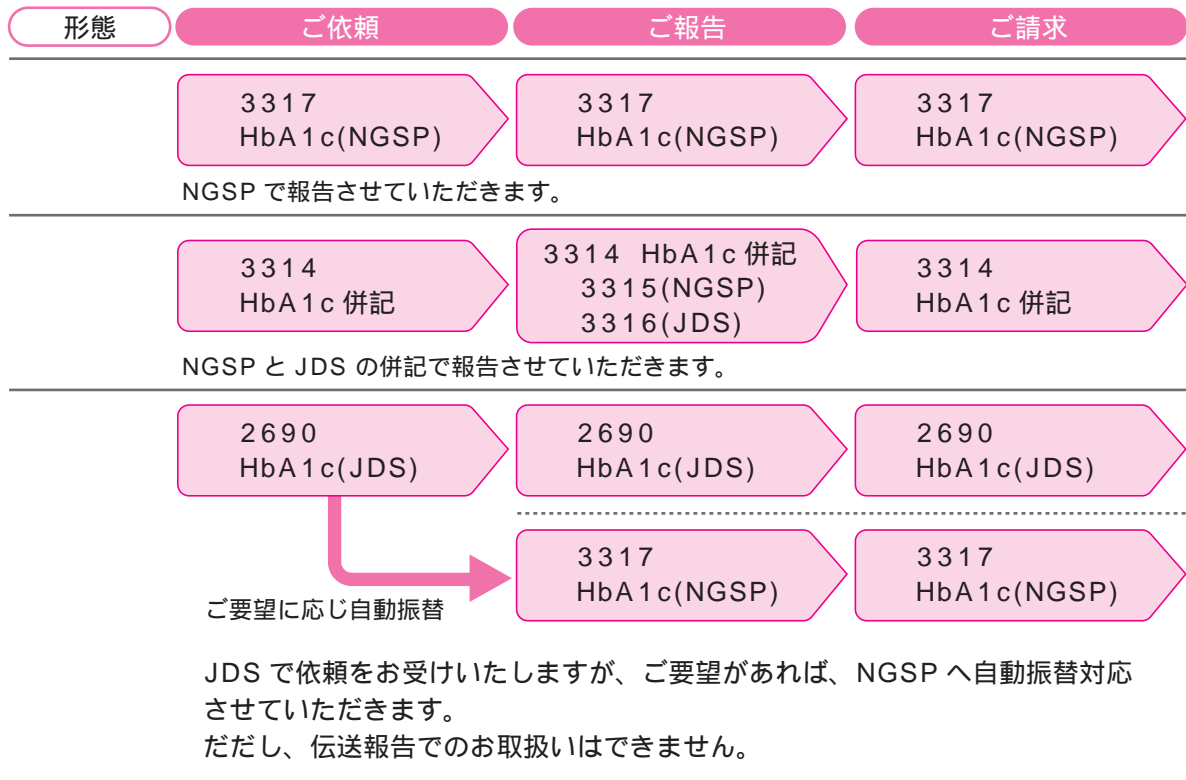
検査方法等の変更はございません。

形態(裏面参照)		新	従来
	依頼コード No.	2690	同左
	検査項目名称	HbA1c (JDS)	ヘモグロビン A1c/LA

なお、この依頼コード No.2690 は、先生方のご要望に応じ、上記 HbA1c (NGSP) 依頼コード No.3317 への自動振替も可能とします。これにより、これまでのご依頼コードを変えずに国際標準値 (NGSP) の表記でご報告させていただきます。ただし、この自動振替は、伝送によるご依頼・ご報告には適用できません。詳細は担当営業員にご確認ください。

変更日 2012 年 4 月 2 日 (月) 受付分より

裏面に続きます



報告書についてのご注意

HbA1c (JDS) 依頼コード No.2690 は、従来通りの報告欄 (固定欄) へ印字しますが、その他の依頼コード No. については、すべてフリー欄へ印字して報告させていただきます。

変更後の内容

現行 (JDS 対応)

	新 (変更後)	従来
依頼コード No.	2690	同左
報告名称	HbA1c(JDS)	ヘモグロビン A1c/LA
参考基準値	4.3 ~ 5.8 %	同左

新規 (NGSP 単独)

依頼コード No.	報告名称	参考基準値
3317	HbA1c(NGSP)	4.6 ~ 6.2 %

新規 (NGSP ・ JDS 併記)

依頼コード No.	報告名称	参考基準値
親 : 3314	HbA1c 併記	
子 1 :(3315)	HbA1c(NGSP)	4.6 ~ 6.2 %
子 2 :(3316)	HbA1c(JDS)	4.3 ~ 5.8 %

< 参考 >

NGSP 値と JDS 値は、以下の式で相互に正式な換算が可能です。

$$\text{NGSP 値 (\%)} = 1.02 \times \text{JDS 値 (\%)} + 0.25\%$$

$$\text{JDS 値 (\%)} = 0.980 \times \text{NGSP 値 (\%)} - 0.245\%$$

“ 日常臨床及び特定健診・保健指導における HbA1c 国際標準化の基本方針及び HbA1c 表記の運用指針 ”。
日本糖尿病学会，入手先 <<http://www.jds.or.jp>> .